

ハワイ文化・語学研修



<研修目的>

ハワイ研修は、本学と学術交流協定を結んでいるハワイ州ウィンドワード・コミュニティ・カレッジ（WCC）との国際交流である。

この交流は、貴重な生活体験をとおして、参加学生に、異文化理解と語学研修の機会を提供することを目的としている。

そして、この国際体験は、実社会が求めているコミュニケーション能力と、多様な価値観を容認できるグローバルな人材の育成を旨とするものである。

2010年度 ハワイ 文化・語学研修

— ウィンドワード・コミュニティ・カレッジとの国際交流について —

1. 研修目的

ハワイ研修は、本学と学術交流協定を結んでいるハワイ州ウィンドワード・コミュニティ・カレッジ（WCC）との国際交流である。この交流は、貴重な生活体験をとおして、参加学生に、異文化理解と語学研修の機会を提供することを目的としている。

そして、この国際体験により、実社会が求めているコミュニケーション能力と、多様な価値観を容認できるグローバルな人材の育成を旨とするものである。

2. 研修内容

- ①WCCにおいて、英語による「自然地理学」や「ハワイの文化」の講義を受講する。
- ②WCCの学生と「日本語」の授業において交流を図り、コミュニケーション能力の向上とともに、異文化理解を深める。
- ③ポリネシア文化について学ぶ。
- ④ハワイ固有の自然にふれる。

3. 参加者氏名

引率教員 学術国際交流委員：草薙眞由美・能登原英代（2名）
学生 生活文化学科 生活介護福祉専攻 2年
009003 稲澤千尋 009008 構口雅胤 009019 永森大貴
009021 東口 誠 009022 藤岡晃年 009029 森實里恵
子ども学科 2年
509051 三好綾香 509052 村山由依子
経営情報科 1年
810015 斉藤万純 810044 山口奈月 （10名）

4. 研修日程（別添資料）

2011年2月26日（土）～3月7日（月） 10日間

5. 訪問先

ウィンドワード・コミュニティ・カレッジ（ハワイ州立・2年制）

Windward Community College

45-720 Kealahala Rd, Kaneohe HI. 96744

Phone : 808-235-7400

6. 宿泊先（連絡先）

パシフィック・ビーチ・ホテル（8泊）

住所 2490 KALAKAUA Ave. HONOLULU. HAWAII 96815 U. S. A.

TEL (808)922-1233 FAX(808)922-0129

7. 研修費用（1人当たり 178,000円 保険料別）

| | | | |
|-----|-----------|---------|--------------------|
| 交通費 | 国際航空運賃 | 74,000 | |
| | 空港税 | 7,500 | |
| | 航空保険/燃料費 | 13,420 | |
| | 観光バス代 | 6,390 | |
| | トロリーバス代 | 1,900 | |
| | 国内外バス代 | 9,000 | |
| 雑費 | (ガイドブック他) | 1,790 | |
| 宿泊費 | | 64,000 | (パシフィック・ビーチ・ホテル8泊) |
| | | 178,000 | |
| 保険料 | | 12,600 | (別料金) |

(支援金)

| | |
|------|--------|
| 見学科他 | 30,000 |
|------|--------|

8. 学生配布資料

- ・ 出発までの日程
- ・ 研修スケジュール
- ・ メンバー表
- ・ 海外研修のしおり
- ・ 海外研修中の注意
- ・ 健康安全・安全管理について
- ・ 旅行代金見積もり（JTBより送付）
- ・ 海外研修記録用紙

| 2011 年 2月26日～3月7日 | | ハワイ研修日程 |
|----------------------|----------|---|
| 1 | 2月26日(土) | JR高松駅バスロータリー5番乗り場 14:00 集合 高松発 14:35 高速バス 関西空港着 18:07 集合 19:20 JTB 団体受付カウンター (4F) 関西空港発 21:25 JL78 便 (所要時間 7時間 05分) 日付変更線通過 ホノルル着 9:30 着後 JTB 専用バスでオアフ島観光 イオラニ宮殿、カメハメハ大王像、モアナ・ルア・ガーデン、パンチ・ボールの丘、DFS ホノルル；パシフィックビーチホテル泊 |
| 2 | 2月27日(日) | 自由研修 ホノルル；パシフィックビーチホテル泊 |
| 3 | 2月28日(月) | ウインドワード・コミュニティ・カレッジ (WCC) 訪問 8:30 ホテル出発 9:30 WCC 到着 10:00 歓迎セレモニー学長先生、教務部長ほか(Hale Kuhina 115) 10:30 ハワイの文化(リコ・ホー教授)・フラダンス講習 11:30 昼食(学食) 12:30 日本語 202 (スワン先生) 13:30 キャンパスツアーおよび、ブックストア ホノルル；パシフィックビーチホテル泊 |
| 4 | 3月1日(火) | ウインドワード・コミュニティ・カレッジ (WCC) 訪問 8:30 ホテル出発 9:30 WCC 到着 9:45 自然地理 101 (イカガワ教授) 11:30 日本語 102 (スワン先生) 12:30 昼食(TRIO で交流を兼ねて) ※TRIO=連邦政府のハワイ人学生支援プログラム 13:30 プラネタリウム 15:00 明日の交流のためのショッピング (Kailua の町で) ホノルル；パシフィックビーチホテル泊 |
| 5 | 3月2日(水) | ウインドワード・コミュニティ・カレッジ (WCC) 訪問 8:30 ホテル出発 10:30 WCC 到着 10:30 Registered Nurse コース見学(介護の学生) 11:30 日本語 102 (スワン先生)調理と交流(HaleKuhina 115) 12:30 日本語 202(スワン先生)調理とレイ作り(継続) ホノルル；パシフィックビーチホテル泊 |

| 2011 年 | | ハワイ研修日程 |
|--------|----------|---|
| 6 | 3月 3日(木) | ポリネシア・カルチャーセンター 出発 12:00 帰着 22:30 ホノルル；パシフィックビーチホテル泊 |
| 7 | 3月 4日(金) | 8:30 ホテル出発 クアロア牧場見学 (WCC のイカガワ教授と学生さん 8 名同行) 12:30 昼食 (WCC の方たちと) 13:00 平等院見学 (WCC の方たちと) 研修終了セレモニー 副学長先生、イカガワ教授、WCC 学生 8 名 ホノルル；パシフィックビーチホテル泊 |
| 8 | 3月 5日(土) | 夕方まで自由研修 (WCC の学生さん 4 名の案内で、アロハ・スタジアムへ) スター・サンセット・クルーズ 出発 16:30 帰着 20:30 ホノルル；パシフィックビーチホテル泊 |
| 9 | 3月 6日(日) | ホテル出発 ホノルル発 13:40 JL77 便 (所要時間 9 時間 35 分) 日付変更線通過 |
| 10 | 3月 7日(月) | 関西空港着 18:15 関西空港発 19:20 高速バス JR 高松駅前着 22:52 JR 丸亀駅前着 23:52 別途追加料金 (300 円) が必要 |

研 修 報 告

1 日 目 2 月 26 日 (土) 日 本 出 発

担当：村山由依子・三好綾香

14:00 JR 高松駅バスロータリー5 番乗り場集合

14:35 高松発 高速バス

18:07 関西空港着

21:25 関西空港発 JL78 便

(所要時間 7 時間 05 分)

日付変更線通過

9:30 ホノルル空港着

JTB 専用バスでオアフ島観光
イオラニ宮殿、カメハメハ大王像、
モアナ・ルア・ガーデン、
パンチ・ボールの丘など

17:00 ホテル着

20:00 全員でミーティング、ゲーム、
英語の挨拶の練習



イオラニ宮殿は、アメリカ合衆国で唯一の宮殿。

(リリウオカラニ女王が幽閉されたところ)

モアナ・ルア・ガーデンは、日立的CMで有名な
「この木なんの木」のあるところで、木の名前は
「モンキーポット」とのこと。

パンチ・ボール (太平洋国立記念墓地) は、以前、
軍の基地だったそうです。

バスの中では、ガイドさんが、ハワイのことについて、たくさん教えてくれました。
ハワイ州について

いわゆるハワイとは、8つの島からなるハワイ諸島のことで、アメリカ合衆国 50 番目の州です。ハワイ州花は、黄色のハイビスカスで、私たちの研修先であるウインドワード・コミュニティカレッジやホノルルのあるオアフ島は、8つの島の中で3番目に大きいそうです。

ハワイの歴史

ハワイには、ほかのポリネシアの島々と同じように、西欧人の渡来まで文字がなかった
ので、記述された古代ハワイ史は存在しません。1778年、ジェームス・クックが渡来。ク
ックがもたらした大砲などの近代火器を用いて、1795年、カメハメハ大王がハワイ統一を
果たします。1894年、欧米列強の植民地拡張と覇権主義の波にもまれ、ハワイ王朝は転覆

しハワイ共和国となります。そして、1898年、アメリカ合衆国 50 番目の州として現在に至っています。

2日目 2月27日(日) 自由研修

担当：永森大貴・東口誠

- 8:30 ホテル出発
- 9:30 ダイヤモンド・ヘッド（ハワイ州自然記念公園）に到着。
- 10:15 ダイヤモンド・ヘッド 登頂

パシフィック・ビーチ・ホテル前から OLIOLI トロリーバスに乗り、ダイヤモンド・ヘッドへ向かいました。OLIOLI トロリーバスは窓がないため、涼しい風が通って爽快でした。道中、景色の良い所で写真撮影を行ったり、運転手さんと一緒に撮ったりしました。

ダイヤモンド・ヘッドの山頂への道は、最初 1908 年に米国陸軍沿岸防衛設備の一部として建設されたものです。山道入口より山頂までの距離は 1.3Km で、火口底面から山頂までの高さは 171m あります。

私たちが思っていた以上に急な岩山や急斜面の階段などがあり、登るのはとても大変でした。しかし、頂上からの絶景を見ると今までの疲れも吹き飛びました。



14:00 ワイキキ水族館

ワイキキ水族館は、ハワイ周辺の海域や南太平洋に生息する約 350 種類の生物を集めた水族館です。館内には、ハワイアン・モンクシール、グリーンシータートル、マスクド・エンジェルフィッシュなど絶滅寸前の珍しい生物も飼育されていました。



16:00 アロモアナセンター

アロモアナセンターで、ショッピングをしました。さまざまな店が数多く集まっていて、全部の店を回るのはとても時間がかかり、1日では困難です。私たちは次の日の歓迎セレモニーで着るアロハシャツとズボンを買いました。

- 19:30 ホテル到着
- 20:00 先生の部屋に集合して、明日行なう英語のスピーチの練習

3日目 2月28日(月) ウインドワード・コミュニティ・カレッジ(WCC) 研修

担当：永森大貴・東口誠

8:30 ホテル出発 (WCC のイカガワ教授が迎えに来てくれました。)

9:30 WCC 到着

10:00 歓迎セレモニー

WCC の Douglas Dykstra 学長より歓迎の言葉と、来校記念として「ハワイ風景写真集」(WCC の先生が撮影したもの)、そして「辻先生退職記念寄せ書き」をいただきました。香川短大学生代表として、永森がお礼の挨拶を、斉藤が香川短大から持参したお土産を渡して、英語でスピーチしました。前日、ホテルで何度も練習した甲斐あって、なんとか、詰まらずに話せました。



10:30 ハワイの文化について(リコ・ホー教授)

講義内容

WCC のキャンパスの裏には、カホエという山があります。昔、学校周辺の平地にあった集落では、炊飯の煙が上昇したので、それが目印になって、よく食事が盗まれていました。しかし、この山の上の方では、風が這うように吹いたので、煙が上昇せず、食事を盗まれることがありませんでした。このような理由で、ハワイ原住民はこの山に住みました。という内容の講義でした。

英語での講義は理解が困難でしたが、ハワイの昔の様子が学べてよい経験になりました。

11:10 フラ・ダンス講習

フラの得意な学生さんから、習いました。

11:30 昼食(学食)

12:30 日本語の授業に参加(2学年:スワン先生) —日本語を学んでいる学生との交流—

1. 英語と日本語で自己紹介と日本の紹介
2. 下記3種類のアクティビティを、日本人学生が英語で紹介し、全員で実施しました。

- ①運動機能を高める目的のゲーム
- ②子どもと仲良くなる目的のゲーム
- ③手話で歌う童謡：夕焼け小焼け

最初は、表情が硬く会話もあまりありませんでしたが、アクティビティを行うにつれて徐々に会話と笑顔が増えていきました。



13:30 キャンパスツアー

イカガワ先生に、キャンパス内を案内していただきました。

養魚場：「蛸とポイ（タロイモ）」の前菜を、ご馳走になりました。

陶芸教室：ろくろを使っての実演を、見せていただきました。陶芸は、中国から韓国を
通って日本へ、また中国から英国と米国本土を経由してハワイに伝わったそうです。

学内美術館：日系人の美術家の作品も展示されていました。ハワイでは日本人の移民が
沢山いたということを聞いていましたが、その子孫たちが活躍していることを感じることが
できました。

ブックストア：ショッピング

16:00 ホテル到着

4日目 3月1日（火）ウインドワード・コミュニティ・カレッジ（WCC）研修

担当：搦口雅胤・藤岡晃年

08:30 ホテル出発

09:00 WCC 到着

09:30 自然地理学（イカガワ教授）

講義内容

熱いコーヒーやシャワーなど、生活の身近な場面での発生を例に上げながら、「霧や霜の出来方について」等のメカニズムの授業を聴講しました。パワーポイントを活用した授業だったので、英語が十分に理解できなくても、分かりやすい内容でした。



11:30 日本語の授業に参加（1学年：スワン先生）

—日本語を学んでいる学生との交流—

1. 英語と日本語で自己紹介と日本の紹介
2. 下記3種類のアクティビティを、日本人学生が英語で紹介し、全員で実施しました。
 - ①運動機能を高める目的のゲーム
 - ②子どもと仲良くなる目的のゲーム
 - ③手話で歌う童謡：夕焼け小焼け



12:30 昼食（TRIOの人達から昼食をご馳走になる）

※TRIO=連邦政府のハワイ人学生支援プログラムの団体
メニュー：ラウラウ（豚肉をティの葉で包み蒸したハワイの伝統料理）

昼食後、ウクレレの演奏を習ったり、TRIOの人達にお礼として渡したお土産のメンコで一緒に遊んだり、童謡を



一緒に歌ったりして、交流しました。

13:30 プラネタリウム鑑賞

Tales of the Maya Skies(マヤの空の物語)

内容…洗練された数学日食を予測し、この高度な文明の宝物、季節変化を予測し、高精度のカレンダーを策定し、マヤの都市や寺院・月や惑星・太陽の動きに合わせて、壮大な旅の物語。マヤからハワイ諸島へ人が移ってきたことを、伝承物語からひも解いたという内容でした。

14:30 AEROASPACE

子ども達の遊び場として、活用されています。飛行機やスペースシャトル、磁石など様々な遊ぶ用具が設置されていました。科学に基づいた内容の遊びや、宇宙や飛行に関する書籍が数多く置いてありました。

15:30 スーパー マーケットでショッピング (Kailua の町)

明日行なう調理の食材(焼きそば)を購入しました。

17:00 ホテル到着

5日目 3月2日(水) ウインドワード・コミュニティ・カレッジ(WCC) 研修

担当：構口雅胤・藤岡晃年

08:30 ホテル出発

イカガワ先生の好意により、WCC への道中に、オアフ島南東部の絶景ポイントを案内していただきました。 ハナウマ湾・モロカイ・ラナイ・潮吹き穴・シーライフ海岸 など

10:30 看護のプログラムの見学(生活介護福祉専攻の学生6名)

2ヶ月のプログラムで、6週間の座学と2週間の施設実習とで構成されていて、米国赤十字社の定めたプログラムをクリアするために必要な、実習に関する実技練習を実習室で行っていました。

血圧測定とベッドから椅子への移乗を日本人学生をモデルとして実際に見せてもらいました。基本的な気分の確認やプライバシーへの配慮などは、日本と同じだと思いましたが、移乗する際の細かいやり方は違っていました。オーストラリアの施設も見学した事があるので、国によっての違いが、介護に対する考えかたの違いにも現れていて面白かったです。



10:30 調理(子ども学科・経営情報科の学生4名)

WCCの学生数名と香川短期大学の学生が、焼きそばと焼きうどんを作りました。

11:30 調理(全員) おにぎり作り

炊き立てのご飯に、ふりかけなどを混ぜておにぎりを作りました。握り方の説明が難しく、形も大きさも個性的なおにぎりが出来上がりました。

12:30 昼食

メニュー…焼きそば、焼きうどん、おにぎり、スパム、デザート



自分達で作った料理は、とても美味しかったです。食事をしながら、英語と日本語を使い分けて、いろいろ話をしました。WCCの学生達と土曜日のフリーマーケットに、一緒に行く約束をしたので、予定していた交流以外にも交流をする機会を作ることができました。



13:30 レイ作り

ティの葉を使った、レイの作り方を教わりました。

16:30 ホテル到着

6日目 3月3日(木) ポリネシア・カルチャーセンター

担当：山口奈月・斉藤万純

12:00 ホテル出発

22:30 ホテル到着

私たちは、この日、午後からポリネシア・カルチャーセンターに行きました。ここは、ポリネシアの文化を保護することを目的にした施設です。私たちは、ここで、日本とは全く違う、昔のポリネシア文化について、多くのことを学ぶことができました。

HAWAII村(ハワイ)

フラ・ダンスの一つ一つの動きには意味があるそうで、昔は文字がなかったので、フラで意思伝達をしていたそうです。

「アロハ」は「こんにちは」、「さよなら」、「愛してる」という3つの意味があります。

ティーリーフ：水分を多く含んでいてなかなか燃えず、お皿代わりにも使っていたそうです。

クワイの実：油を含んでいるので、昔はキャンドル代わりに使われていて、現在ではレイに使用されている実です。

タロ芋：ハワイの主食です。

F I J I 村(フィジー)

この村では、身分や家族によって、家に入る際の扉が決まっています。掟破りは死刑だったそうです。屋根は、さとうきびでできています。良い点は、雨が降ると吸収してくれ、風がよく通ることです。悪い点は、虫が寄ってくることです。そのため、煙をおこして虫を撃退していたそうです。また、髪が多さで権力を表わしていました。そのため、女性は短く、子供は剃られていました。



S A M O A 村(サモア)

この村の人は、男性が料理をして、女性が食べ終わるまでは、食べない習慣があるそうです。とても暑いので、家に壁はなく、天井が高いです。

T O N G A 村(トンガ)

TONGA は「南」という意味です。ここは、今でも王様がいるそうです。

A O T E A R O A 村(アオテアロア)ニュージーランド

ワカタウワは、全長約 15mの戦闘用の船で、船頭から船尾に、指令が聞こえる仕組みになっています。ここでは、ポイという手首強化の訓練もしました。



乾いた太い木に穴をあけ、細い木の棒を、その穴にこすりながら入れ、火をおこします。

そして、その火で、迫力あるファイアー ショーを観ることができました。

7日目 3月4日(金) クアロア牧場・平等院見学 研修終了セレモニー

担当：山口奈月・斉藤万純

8:30 ホテル出発

イカガワ先生に、クアロア牧場への道中オアフ島南東部の絶景ポイントを案内していただきました。ラニカイ海岸・カイルア海岸・クアロア海岸(チャイマズ・ハット)

10:00 クアロア牧場見学

クアロア牧場見学には、先日の研修で仲良くなれた



WCC の学生さん 8 人が同行してくれました。この牧場は有名な映画のロケ地です。私は、WCC で友達になった人の隣に座って英語で話しました。「What did you do yesterday?」や「What kind of movie do you like?」など積極的に質問をして、聞かれたことに対しては一生懸命英語で答ました。最初は、本当に通じているのか不安でしたが、相手も日本語を少し勉強しているので、お互い様だなと思うと、失敗する恥ずかしさはどっかにいってしまいました。

12:30 昼食

クアロア牧場内のレストランで、WCC の学生さん達と昼食を食べました。WCC の学生は漢字に興味を持っていて、少しですが一緒に漢字の勉強もしました。



13:00 平等院見学

京都の平等院の 3/4 スケールで作られているようで、ここだけは、日本の風情が漂っていて、日系移民の心情に想いをはせました。



14:30 研修終了セレモニー

WCC に帰って、副学長先生からお言葉と修了証書をいただきました。最後にみんなで記念撮影を行い、メール交換をしました。別れが、なごりおしかったです。



8 日目 3月5日(土) 自由研修 WCC の学生さん達とアロハ・スタジアム サンセット・クルーズ

担当：稲澤千尋・森實里恵

8:30 ホテル出発

9:30 アロハ・スタジアム到着

この日は、昨日は参加できなかった WCC の学生さん達が、アロハ・スタジアムのフリーマーケットを案内してくれることになって、ホテルまで迎えに来てくれました。アロハ・スタジアムは、交通の便の悪い所にあるので、通常の観光では行くことの難しい場所です。

そのスタジアムに、WCCの学生さん達の好意で行くことができました。

そして、英語と日本語の飛び交う楽しい会話の時間を、半日過ごすことができました。私たちは、あまり英会話が上手ではありませんが、身振り手振りで話すと、けっこう話は伝わるものだなあ、と思いました。

連れて行ってくれたお礼に、Tシャツなどをプレゼントすると、ココナッツのジュースをご馳走してくれたので、みんなで飲みました。今まで味わったことのない飲み物でおいしかったです。

また、「これ、おいしいよ」と言って、団子を油で揚げたようなお菓子も紹介してくれました。これも、甘くて、とてもおいしかったです。きっと、地元の人のご案内がなければ、食べる機会はなかったでしょう。

この日は、自由研修日でしたが、WCCの学生さん達と過ごすことができ、とても貴重な国際交流の機会となりました。なごりおしくて、たくさんアドレス交換しました。

日本に帰っても、交流を続けたいと思っています。

15:00 ホテル到着

16:30 サンセット・クルーズに出発

夕方からは、豪華客船の中で、フラ・ダンスのショーとハワイアン音楽の中で食事をしました。太平洋に夕日が沈む美しい景色を眺めながら、とても美味しいステーキとカニの足を食べたり、ダンスをしたりしました。

20:30 ホテル到着



9日目 3月6日(日) ハワイ出発

担当：稲澤千尋・森實里恵

10:30 ホテル出発

13:40 ホノルル発 JL77 便 (所要時間 9 時間 35 分)

この日は、ハワイ最終日のため、スーツケースをホテルの従業員に預けたあと、朝食をベランダで食べました。突然のスコールが降り、外を見ると、海の方にダブルレインボーがかかっていました。ハワイ最後の日の、いい思い出ができました。



10日目 3月7日(月) 日本に帰国 関西空港着

担当：村山由依子・三好綾香

18:15 関西空港着

19:20 関西空港発 高速バス

22:52 JR 高松駅前着

今回のハワイ研修では、みんな元気で無事に研修を終えることができました。最後に、今回の研修で、特に報告すべきことが2つあります。

ひとつは、ウインドワード・コミュニティ・カレッジ(WCC)到着後に、看護の授業を開講していることがわかって、実習の説明を聞くことができたことです。

もうひとつは、WCCの学生さんが観光に同行してくれたり、自由研修日に、アロハ・スタジアムのフリーマーケットを案内してくれたりしたことです。これにより、異文化理解と語学研修の時間を、当初の予定より多くとることができました。10日間の研修期間は短かったですが、異文化を理解することの必要性和、十分に英語が話せなくても思いは伝わるが、英語は必要だということを学びました。

このような、貴重な国際交流の機会を得ることができたことは、香川短期大学での良い思い出となりました。

最後に、WCCと香川短期大学との交流10周年を記念して、1999年に植樹した木が、このように立派に育っていることを報告します。

